

(一般屋内用)

光 色	品 番		
	単体	連結中用	連結端用
昼白色【5000K】	FYY(FYYH)26672J	FYY(FYYH)26676J	FYY(FYYH)26680J
白 色【4000K】	FYY(FYYH)26673J	FYY(FYYH)26677J	FYY(FYYH)26681J
温白色【3500K】	FYY(FYYH)26674J	FYY(FYYH)26678J	FYY(FYYH)26682J
電球色【3000K】	FYY(FYYH)26675J	FYY(FYYH)26679J	FYY(FYYH)26683J

※上記（ ）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様へ必ずお渡しください。

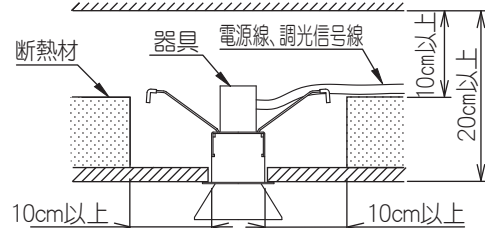
安全に関するご注意

警告

- 断熱材、防音材をかぶせて使用しない。
過熱による火災の原因となります。



器具は、断熱材・防音材・造営材と
下図のような空間を設けて施工してください。



- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- LEDユニットが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁面や天井直付はしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 光源として高輝度LEDを使用しています。光源部（LEDユニット部）を長時間直視しない。
目に障害をあたえる恐れがあります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の強い場所、雨水のかかる場所、風の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、ちらつきや短寿命の原因となります。
- 器具の取付・取外しは手袋などの保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

- ・コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行ってください。LEDユニットの故障・短寿命の原因となります。万一、通電状態でコネクタ接続を行った場合、電源ユニットの保護回路（発振停止機能）によりLEDは点灯しませんので、一旦電源を切り再投入してください。
- ・スイッチを接地側に取付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側（電圧側）に取付けてください。（接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします）
- ・T/U付6Aリレーを使用する場合、照明器具の接続台数に制限があります。
詳細については、該当T/U付6Aリレーのカatalog・商品仕様書をご参照ください。

施工上のご注意

・起動方式“L T”の器具は、当社適合コントロールとの組合せにより、光出力を約25～100%に変化させることができます。

■適合コントロール

適合コントロール	L T
セパレートセルコン、インバータ蛍光灯調光T/U；スーパーマーケットセルコン	○注1
ライトコントロール、信号線式（LED・インバータ蛍光灯）（H f側で使用）	○注2
ライトマネージャS+連続調光インバータ照明器具用プースタ（H f側で使用） ライトマネージャL+調光ボックス（H f側で使用）	△注3

- ・適合コントロールは当社製品をご使用ください。適合コントロールの注意事項については適合コントロールの説明書をご確認ください。
- ・接続可能な器具台数は器具の定格電圧により異なります。詳細はライトコントロールの承認図、取扱説明書をご参照ください。

※ライトコントロールで照明器具電源を接続する場合、接続台数が減少する場合があります。

ライトコントロールの定格容量とLED器具の定格を事前に確認してください。

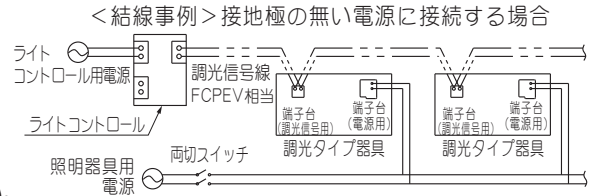
注1) 調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。

注2) ライトコントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。

注3) 調光器による消灯後も薄暗く発光する場合があります。演出用に消灯する際はご注意ください。

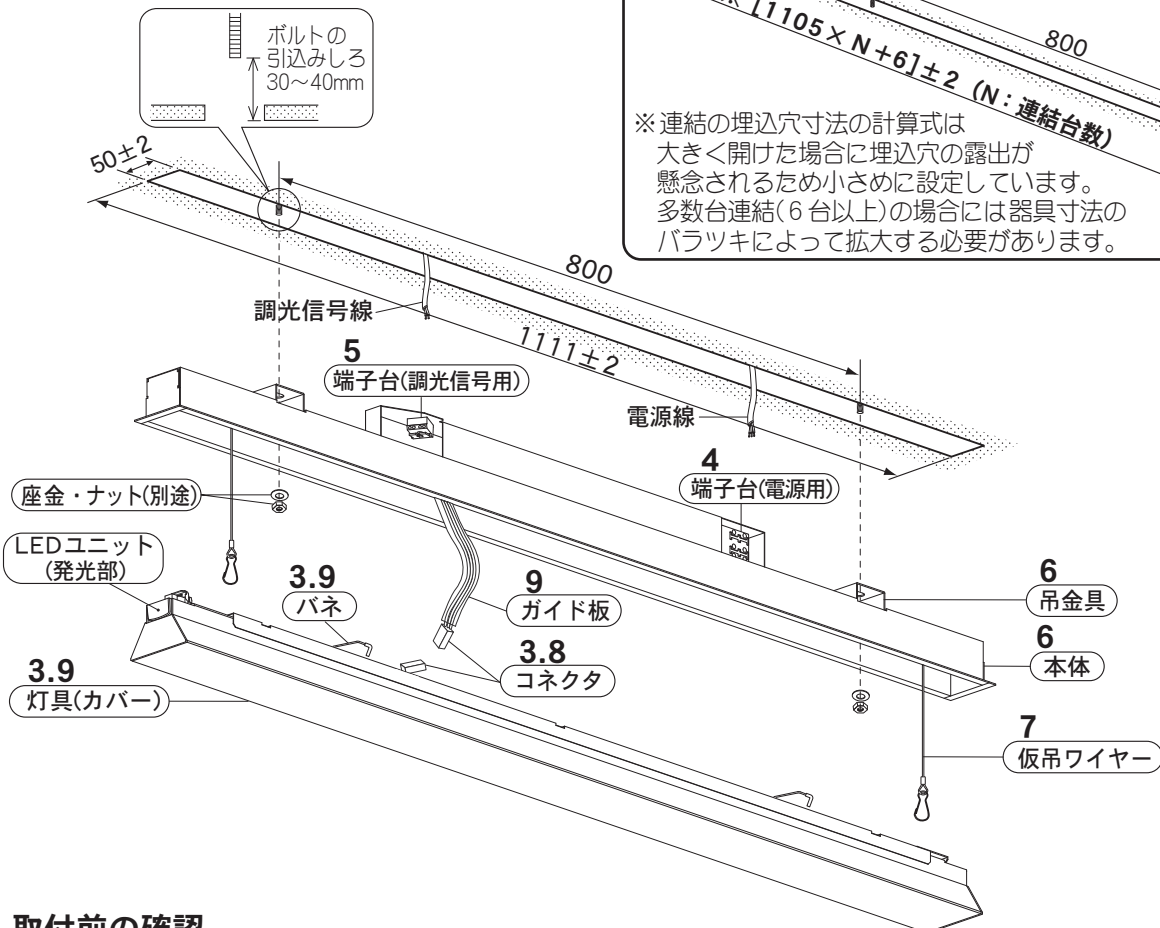
■結線について

- ・コントロールの結線はコントロールの説明書をご確認ください。
- ・接地極のない電源に接続する場合は、右図の結線をおすすめします。
- ・接地極のない電源にライトコントロールのスイッチを介して接続した場合は、スイッチで消灯後もランプが薄暗く発光する場合があります。
- ・電源線は低圧屋内配線工事、調光信号線は弱電流配線工事が必要です。
- ・調光信号線は、電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
- ・電線管をご使用の場合は、電源線と調光信号線を同じ管内に収納しないでください。



各部のなまえと取付方法

- ・施工前に下図の状態にしてから、行ってください。
- ・FYY26672J（単体）の例で説明しています。
- ・断熱材を使用しない場合、天井裏寸法は10cm以上必要です。



【連結の埋込穴寸法】

※連結の埋込穴寸法の計算式は
大きく開けた場合に埋込穴の露出が
懸念されるため小さめに設定しています。
多数台連結(6台以上)の場合には器具寸法の
バラツキによって拡大する必要があります。

1. 取付前の確認

- ・器具質量（FYY26672J：3.8 kg）に十分に耐えるようボルト取付部の強度・天井材の強度を確保する。
（取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する）
ボルトは極端な斜め出しにならないこと。
不備があると器具落下の原因となります。

2. 埋込穴の開口

- ・埋込穴・取付ボルトを上記の図のように用意しておく。
- ・電源線、アース線と調光信号線を埋込穴より引き出しておく。

3. 灯具の取外し

- ・本体から灯具を引出し、バネを外す。
- ・コネクタを取外す。



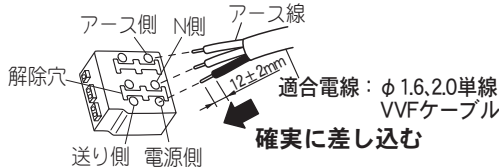
警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

各部のなまえと取付方法

4. 電源線・アース線の接続

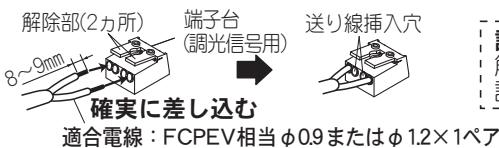
- 電源線、アース線を確実に差し込む。
- D種（第3種）接地工事が必要です。
- 端子台の容量は13Aです。（送り機能付）
接続が不完全な場合、容量オーバーした場合、火災の原因となります。



電源線の外し方
マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く

5. 調光信号線の接続

- 調光信号線を確実に差し込む。
接続が不完全な場合、火災の原因となります。
- 弊社適合コントロールをご使用ください。
注) 制御可能台数はコントロールの取扱説明書をご確認ください。



調光信号線の外し方
解除部を押しながら調光信号線を引き抜く

6. 本体の取付

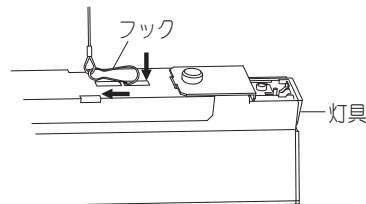
- 本体の吊金具を取付ボルトにボックスレンチなどで確実に締付、固定してください。
(推奨トルク値：0.8 N・m)

(連結の場合)

- 本体は、必ず連結金具を取外した端用器具より施工してください。
☞ 下記「連結器具の取付」参照。

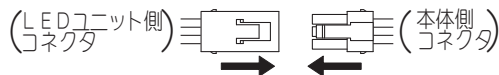
7. 仮吊ワイヤーの取付

- 仮吊ワイヤーのフックを右図のように灯具の角穴に押し当て、横に引く。
取付が不完全な場合、灯具落下の原因となります。



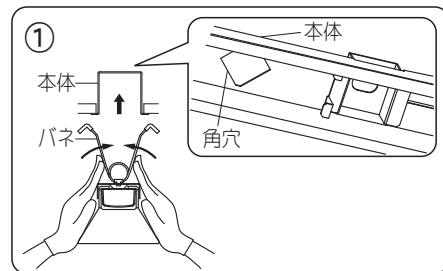
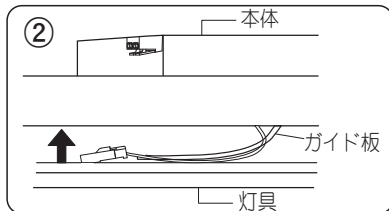
8. コネクタの接続

- 本体側コネクタをLEDユニット側コネクタに確実に接続する。
カチッと音がするまで差し込む。**不備があると不点灯の原因となります。**



9. 灯具(カバー)の取付

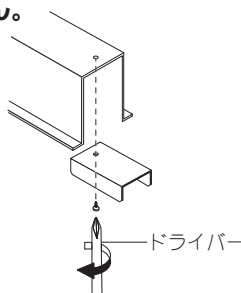
- 灯具のパネを両手で押さえながら、本体の角穴に引っ掛ける。
- 灯具(カバー)を押し上げ、本体に取付ける。
ガイド板が本体からはみ出ないように十分注意してください。
不備があると線噛みを起こし、感電・火災の原因となります。



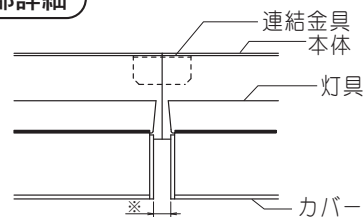
連結器具の取付

- 端用器具1台の連結金具を取外してください。
(取外した連結金具は使用しません)
- 連結金具を外した端用器具より施工してください。
施工順序に不備があると施工出来ません。

連結中用	連結端用
FYY26676J	FYY26680J
FYY26677J	FYY26681J
FYY26678J	FYY26682J
FYY26679J	FYY26683J



連結部詳細

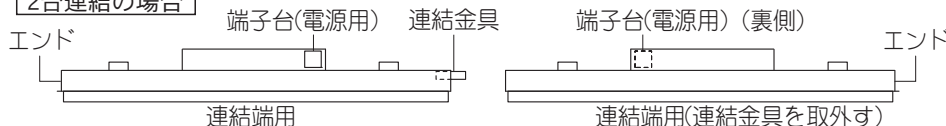


※連結部の隙間は各々均等になるようにカバーの位置を調整してください。また、カバー装着後、長手方向のズレが気になる場合には左右にずらして微調整してください。

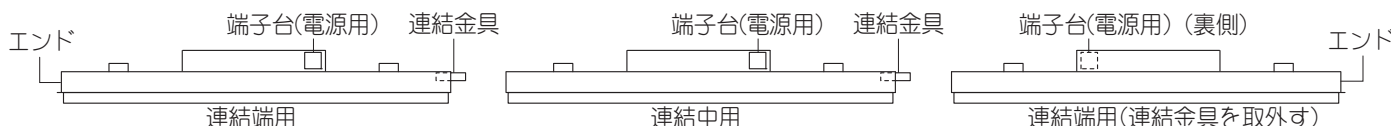
- 端用器具は、下図のようにエンドが外側となるよう取付けてください。

注意 最初に施工した端用器具からの送り用電源線、送り用調光線は他の連結器具との送り用電源線、送り用調光線と長さが異なります。

2台連結の場合



N台(3台以上)連結の場合 (N：連結台数)

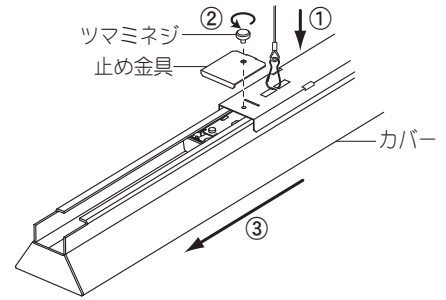


カバーの取外し方法

● カバーは取外して、清掃等することができます。

- ① 灯具（カバー）を引き出す
- ② 仮吊状態でツマミネジを外し、止め金具を取外す
- ③ カバーをスライドさせて、灯具より取外す
- ④ 清掃等の後、カバーを取付ける
 - ・必ず止め金具を取外した側からカバーを取付ける。反対側からカバーを取付けることはできません。**カバー破損の原因となります。**
- ⑤ 灯具（カバー）を戻す。

☞ 3ページ「各部のなまえと取付方法」9. 灯具(カバー)の取付 参照



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を分解、改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- LEDユニットが破損した状態で使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

- LEDユニット交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で器具を拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検交換してください。※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
- LED光源は寿命が来てても暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX2021HA)点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■ LED照明器具の光源寿命(※)は、40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)※光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の85%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- ・ 光源として高輝度LEDを使用しています。光源部(LEDユニット部)を長時間直視しないでください。
- ・ LED素子にバラツキがあるため、LEDユニット内のLED個々、及び同一品番で発光色・明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- ・ ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・ 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・ 光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違があります。
- ・ 電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合がありますが異常ではありません。予めご了承ください。
- ・ コントロールと組合せて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。
 - 同一器具または同一品番で点灯及び消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
 - 低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
 - 適合コントロール側のスイッチで消灯した場合、消灯後もLEDユニットが薄暗く発光する場合があります。

保証について

- 保証について……この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間……弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ

- 器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

注意

- 感電のおそれあり
お手入れ時は、必ず電源を切ってください。

■ 定格	起動方式	定格電圧		
		AC100V	AC200V	AC242V
LT9	入力電流	0.31A	0.16A	0.13A
	消費電力	31W	31W	31W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土/9:00～18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) (Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open: 9:00-17:30(closed on Saturdays/Sundays/national holidays))